

耳を澄まし語りあい、

3.11

経験のわかちあい。

当事者ネットワーク キャラバン 2019

NIIGATA

避難元を問わず
避難・移住された方、
一般の方

東日本大震災・原発事故で全国各地にかけらのように
散り散りとなった一つひとつの声・存在・願いを、
参加者同士で聴きあい語りあい、ともに積み重ねていきましょう。

全国各地の
おやつも登場

託児あり

2019年9月14日(土)

東区プラザ 講座室2 / 多目的ルーム2
| 新潟市東区下木戸1丁目4番1号 (東区役所2階) |

参加費無料 | 定員 50名 |

| お申し込み・お問い合わせ先 |

メール (件名:新潟キャラバンと記載)・ホームページ
お問い合わせフォーム・お電話にて、①お名前
②連絡先 ③託児希望の方はお子さんの人数・
年齢をお知らせください。 * 締切9/4 (水)
311当事者ネットワークHIRAETH (ヒラエス)
事務局 (藤本)

メール: info@hiraeth.work

H P : http://hiraeth.work/

電話: 090-1326-8329

主催・運営: 311当事者ネットワークHIRAETH (ヒラエス)
〒790-0871 愛媛県松山市東一万町2
第3森ビル1階協働オフィス内

協力: 福島県生活再建支援拠点 (新潟拠点)「コランショ」、
特定非営利活動法人日本NPOセンター

後援: NPO法人スマイルサポート新潟

| 第1部 | 10:00~12:00 (9:30開場) / 講座室2

講話

原発事故からの 避難による生活への影響 ～新潟県の検証委員会の作業から～

講師 松井 克浩 氏 (新潟大学副学長 人文学部教授)

福島第一原子力発電所事故の避難者へ実施したアンケート調査をもとに、原発災害がもたらす日常生活への影響や苦悩についての分析と、新潟県と全国の避難者との差異や類似点などについてお話をいただき、皆さんと共に考える機会とします。

講師プロフィール: 新潟県検証委員会の「健康・生活委員会」生活分科会のメンバー。福島第一原子力発電所事故の避難者に対して、多くの避難当事者の調査を実施している。著書『中越地震の記憶一人の絆と復興への道』(高志書院, 2008)、『震災・復興の社会学— 2つの「中越」から「東日本」へ』(リベルタ出版, 2011)、『故郷喪失と再生への時間— 新潟県への原発避難と支援の社会学』(東信堂, 2017)など。

| 第2部 | 13:30~16:00 (13:00開場) / 多目的ルーム2

対話のワークショップ

次の災害に私たちの経験が活かされるようにと願いを込めて、参加者のみなさんとともに、3.11の経験を聴きあい語りあいを行います。さらに、フリーライター吉田千亜さんにもご参加いただき、母子避難から見てきた“避難者の今”についても共有したいと思います。

吉田千亜氏プロフィール: 原発事故後、自分の子どもへの心配から関わり始め、埼玉県内で避難者の交流会を開く。著書に『ルポ母子避難』(岩波新書)、『その後の福島』(人文書院)等。

全国キャラバンと 私たちについて

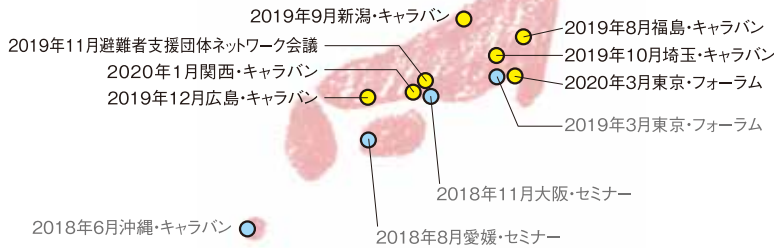
| 311当事者ネットワークHIRAETH(ヒラエス) |



2018年度開催したキャラバン・セミナー……●

2019年度開催予定の
キャラバン・フォーラム・ネットワーク会議……●

● 2018年9月北海道・キャラバン



はじめまして。311当事者ネットワーク HIRAETH(ヒラエス)です。

私たちは全国各地で避難を経験した当事者として、悲しみ、怒り、悩み、疑心暗鬼、葛藤、やるせなさなど、様々な感情に触れてきました。そして支援の現場を通じてHIRAETH(ヒラエス)のメンバーと出会い、お互いの声に耳をすませ、語りあい、経験をわかちあいたいと思い、つながり直し、動き始めました。私たちはできる限り、全国でさまざまな経験をもつ当事者のみなさんと、本音でお話したいと考えています。8年が経ち私たちの経験は何だったのか。2019年、私たちの声を積み上げていくキャラバンをここ新潟からスタートします。私たちの経験がなかったことにならないように。未来にしっかりといかされていくように。

| ヒラエス 設立メンバー |

●北海道から

藤本 昭則 (茨城県→北海道へ避難)

みちのく会(2017年解散)札幌本部長担当

●東京から

市村 高志 (福島県富岡町→東京都へ避難)

特定非営利法人とみおか子ども未来ネットワーク理事長

●愛媛から

澤上 幸子 (福島県双葉町→愛媛県へ避難)

特定非営利活動法人えひめ311副代表理事兼事務局長

●岡山から

服部 育代 (東京都→岡山県へ避難)

一般社団法人ほっと岡山代表理事

●沖縄から

桜井 野亜 (福島県郡山市→沖縄県へ避難)

福島避難者のつどい 沖縄じゃんがら会代表

| HIRAETH ヒラエス ~名前の由来~ |

「望郷」「郷愁」「憧れ」などの意味を持つウエルズ語。「翻訳するのは難しい」とも言われており、もう戻ることができない故郷、あるいは、家や土地のみならず失ってしまった時、人、愛などの感情といったものへのさまざまな「思い」を表現する単語です。

Access | アクセス |



| 交通案内 |

●路線バス利用の場合：

- ・大形線「下木戸」下車 徒歩2分
 - ・牡丹山線北高校前系統「下木戸」下車 徒歩2分
- ※北高校前方面のみ。万代シティ方面は停まりません。

●区バス利用の場合：

- ・松崎ルート「東区役所」下車
- ・河渡ルート「下木戸」下車 徒歩2分

●駐車台数：約300台

(東区役所4階駐車場、屋上駐車場、北/東駐車場)

- ・思いやり駐車場11台
(4階6台、1階バスロータリー屋根1台、屋根なし4台)
- ・平日の日中は大変混み合っております。乗り合わせや公共交通機関の利用にご協力ください。なお、屋上駐車場が比較的空いておりますのでご利用ください。